

## 気象台一口メモ「なだれについて」

2月はまだ真冬の寒さが続きますが、冬型の気圧配置が次第に長続きしなくなります。日あしの伸びに春の気配を感じるのもこの頃です。一方、最も積雪が多くなる時期でもあり、なだれによる災害に注意が必要です。

「なだれ」とは積もった雪が斜面を崩れ落ちる現象で、大雪が降ったときに新たに積もった雪が崩れ落ちる「新雪表層なだれ」と、積もっている雪の全てが崩れ落ちる「全層なだれ」に分けられます。

なだれは煙のようにフワフワしているように見えますが、木や建物を一瞬にして吹き飛ばす破壊力を持っていて、そのスピードは時速300km以上になることがあります。

旭川地方気象台では、「24時間降雪の深さが30cm以上」「積雪の深さ50cm以上で日平均気温が5℃以上」のときになだれ注意報を発表します。

深い雪のある斜面では、どこでもなだれ災害の危険があると言っても過言ではありませんが、特にスキーや登山では、気象条件に十分に注意するとともに、地元の人が長年の経験から設定する危険地帯には絶対に立ち入らないことが重要です。

また、市街地では寒さがやわらいだときに屋根からの落雪による事故が起きやすく、毎年、命を落したり怪我をする方がいます。気温の変化に注意するとともに、軒下には入らないよう気をつけて事故にあわないように気をつけましょう。

### ◎問い合わせ先

旭川地方気象台総務課 ☎0166-32-7101

旭川地方気象台ホームページアドレス

<http://www.jma-net.go.jp/asahikawa/index.html>

## 屋根から落ちる雪や氷に注意しましょう

毎年、冬になると、屋根に積もった雪、氷、つららが落ちて、歩行者がけがをしたり、また、死亡する事故が、しばしば起こっています。

皆さんも、冬期間の生活にはご苦労されていると思いますが、冬期間の通行を円滑にし、事故を無くするため、特に、次のことに注意するようお願いいたします。

- ◆屋根の雪、氷、つららが道路に落ちる建物には、これに伴う事故を避けるため雪止めをつけるようにしてください。
- ◆屋根の雪、氷、つらは、気温が上昇したときは早めに落とすようにし、落とすときは歩行者や遊んでいる子どもなどに十分注意するようにしてください。
- ◆屋根から大量の雪が落ちたときは、直ちに事故がないかどうか確かめるとともに、歩行者の通行への影響を避けるため、速やかに処理してください。
- ◆交通事故・交通障害防止のため、屋根からの落水雪や敷地内の積雪を道路に出さないようにしてください。
- ◆軒下を通行するときは、落水雪に十分注意するようにしてください。
- ◆軒下では、子どもを絶対に遊ばせないようにしてください。

留 萌 開 発 建 設 部  
留 萌 土 木 現 業 所  
留 萌 警 察 署  
小 平 町

## 暮らしぶりの映し～北の光が続く道～

### ▼留萌管内イベント情報

【留萌市】2月28日(日)  
萌っ子春待里

【苫前町】2月28日(日)  
第18回北海道風あげ大会兼第37回苫前町風あげ大会

【羽幌町】2月21日(日)  
おろろんウインターフェスティバル

### 今月のトピックス

#### 気になる観光案内標識ありませんか？

旅先に行くとき必ず見かける観光案内標識。「萌える天北オロロンルート」内にも、さまざまな標識が設置されています。すべての利用者にとってわかりやすい観光案内標識を実現するため、当運営代表者会議では、標識の見やすさ、利便性の観点から、加盟する38の活動団体と協議・検討を行い、具体的な方法を提言していきます。

観光案内標識についてのご意見・ご要望がございましたら、当運営代表者会議事務局の川井・山郷までお寄せください。

問 萌える天北オロロンルート運営代表者会議事務局（増毛土建株式会社内）

TEL 53-1140 FAX 53-1141 y.sango@mashedoken.co.jp

留萌管内の情報が満載！ るもい fan.net

HP <http://rumoifan.net/>

萌える天北オロロンルート ②